



藤田 まこと

No. 19

議会だより

二〇一五年六月

発行者 藤田 まこと
事務所 青森市中央1丁目22-5
青森市議会
社民党控室
TEL:017-734-5692
FAX:017-722-8902
印刷所 スタジオとまと
TEL/FAX:017-761-2770

平成27年 第2回定例会

＝副市長2名体制を含む全議案補正予算可決＝

6月定例会では、副市長2名体制と青森駅周辺整備事業の継続問題が大きな課題となりました。

副市長2名体制条例案が可決、市から元経済部長の佐々木淳一氏を副市長に推挙する人事案件が議案として審議され、結果議案は僅差で可決されました。

また、自民党清風会から「青森駅周辺整備推進事業の速やかな実施を求める決議」が動議で出され、採択の結果、可否同数で議長裁決で採択されました。



主な専決処分

原動機付自転車、軽二輪に係る軽自動車税の引き上げを、本年4月から来年（平成28年4月）に延期する。

主な補正予算案

地域づくりを担う人材育成、客引き行為に係る罰金の引き上げ、地域花いっばいまちづくり事業（道の駅アップルヒル、西山公園へのラベンダー植栽整備）

主な条例案

1. 副市長を1名から2名体制にする。
2. 一定の環境性能を有する三輪以上の軽自動車税を平成28年度に限り軽減
3. 国民健康保険税の5割・2割軽減対象世帯の判定所得算定の見直し
4. 介護保険料の第1階層の保険料の軽減
5. 契約の締結（富田雨水ポンプ場、金沢・小柳小学校整備のため）
6. 「北のまほろば歴史館」の指定
7. 青森市客引行為による罰金の強化

一般質問項目

- まちづくりについて
- PM 2.5について
- 子どもの囃子について
- 行財政改革について



一般質問

PM 2.5について

4月末にテレビでPM 2.5の飛散状況が県内の天気予報で放送されたことから、注意喚起の周知について質問した。

答弁 大気中に漂う粒径が2.5μm以下（髪の毛の1/30）で肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系と循環器系への影響が懸念されるため、甲田小学校に24時間365日連続測定器を設置し監視している。

国が定めた環境基準により、県が中心になり、注意喚起の要綱が定められ、報道機関、市関連施設、学校、保育所等に周知されます。また、市として5月に大気汚染物質のサンプリングを実施、近く成分分析結果について公表する。

要望 視聴覚障がい者や観光客等への情報伝達方法として、電光掲示板の設置をするよう要望した。

子どもの囃子について

本物の太鼓を叩いてみたい子どもたちの夢を叶えてあげたいと思い、各運行団体で不用になった太鼓を再利用し、小・中学校や、地域での囃子練習に太鼓を貸出する制度について質問した。

答弁 実際に楽器に触れ、慣れ親しむ機会を提供することは、正しくねぶたを次世代に保存・伝承し、後継者を育成するとの重要性を認識している。

提案された件については「青森ねぶた運行団体協議会」の協力を得ながら可能性調査を行う。

まちづくりについて

青森駅周辺整備推進事業（青森駅の上に橋を架ける事業）が、当初の81.7億円が、なぜ、1.5倍の123.6億円にもなったのか、市民は知る権利があると思います、詳細を質問した。

答弁 現在、JR東日本管内で実際の工事を参考に再計算され、平成29年までの2年間の工事期間の工事費の上昇率（建設費の推移状況から算定）から推計したもので、実際の工事費は設計作業をしないと算定できないとの事であった。

青森駅周辺整備事業についての議会への説明の経過について（鹿内市長が答弁）

事業費増大は2月25日に各派代表者会議で説明し、3月議会で意見を伺い、4月中に判断するとし、4月30日、概ね2年中断したいとの案を各派代表者会議で示し、4月5月議会の皆さまから意見を聞いて、5月末までに判断するとなりました。その後、市長と議員との意見交換会で、6月議会での議論を踏まえてからの意見もあり、6月定例会後に市として判断する事にしました。市として一方的に進めたのではなく、これまで3ヶ月の間その都度説明し、多くの皆さまから意見を伺ってきている事を理解して頂きたい。

予算委員会質問項目

- ① アウガの経営再建について
- ② 障がい者に対する虐待について



青森駅周辺整備推進事業費内訳（3月末にJR東日本から提示）

自由通路整備費			
	当初計画	再計算後	上 昇 分
自由通路・駅舎・鉄道支障に係る工事費	62 億円	99 億 1 千万円	37 億 1 千万円
用地費・補償費を含む消費税等		8 億 9 千万円	
西口駅前広場整備費	約 12 億円	15 億 6 千万円	3 億 6 千万円
事業費計	81.7 億円	123.6 億円	41 億 9 千万円
財源の内訳			
国 の 交 付 金	36 億 5 千万円	55 億 4 千万円	18 億 9 千万円
市 債（借 金）	40 億 5 千万円	61 億 3 千万円	20 億 8 千万円
一 般 財 源	4 億 7 千万円	6 億 9 千万円	2 億 2 千万円

※都市再生整備計画事業で試算、JR東日本との協議前なので正確な数字ではない。
 ※この中には都市機能（付随する駅ビル等）が含まれていない。
 ※鉄道敷地内を通る水道管・下水道管等もJR東日本が行い、工事費も安全管理上、通常より割高となっている。

第1期計画期間中に実施された事業の起債額と償還のスケジュール

起 債 額	34億 570万円
返 済 済 額	元金約4億7千万円
借 金 返 済	毎年約1億8千万円
返 済 期 間	H27年～H42年度
返 済 総 額	29.4億円

これまでの、第1期2期中心市街地活性化基本計画の国・県の補助金、市の支出の内訳

	第1期計画	第2期計画	第1期～第2計画
計 画 期 間	H19年～H24年3月	H24年～H26年3月	
事 業 数	26事業	39事業	
補助金	国	53億5101万7千円	5億2882万3千円
	県	4億3236万7千円	7383万4千円
補助金総額	57億8338万4千円	6億265万7千円	63億8604万1千円
市 の 支 出	46億7017万4千円	6億6137万3千円	53億3154万7千円
各 期 総 額	142億3675万3千円	39億576万8千円	181億4252万1千円

☆ご意見・ご要望をお待ちしています☆

社民党控室 藤田 まこと

TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902

ホームページ アドレス <http://www.fujita-makoto.jp/>

私の考え

青森駅前周辺整備は必要と思うが、現状の橋上の自由通路が中心の整備計画は古く、時代に合った整備事業を早急に行うべきと考えています。（橋ではなく下を歩いて横断できる事業）